



2019年台湾検査官（りんご、なし）招聘事業実績報告

日本青果物輸出促進協議会

平成31年度農林水産物・食品輸出促進対策事業のうち 輸出環境整備推進事業（2 国際的認証資格取得等支援事業）を活用して実施

- ▶ 台湾向け日本産りんご、なし、もも、すももの輸出検疫条件の概要（抜粋）
- ▶ 台湾向けに日本産りんご、なし、もも、すもものを輸出するには、登録生産園地での栽培、登録選果こん包施設での選果及びこん包の実施とともに、輸出検査を受けなければならない。
- ▶ 1 対象植物 りんご、なし、もも、すももの生果実（以下「生果実」という。）
- ▶ 2 主な検疫対象病害虫 モモシンクイガ
- ▶ 3 主な検疫条件
- ▶ （2）登録選果こん包施設での選果・こん包の実施 登録生産園地で生産された生果実は登録選果こん包施設で選果・こん包を行う。なお、こん包に用いる容器は台湾向け表示のある未使用のものを使用する。
- ▶ **（3）台湾側検査官による査察**
- ▶ **台湾側検査官により、登録生産園地及び登録選果こん包施設の査察が行われる。**

2019年11月 りんご、なし

登録施設の査察実施対象

都道府県名	登録施設数	査察実施施設数	登録施設数	査察実施施設数	登録施設数	査察実施施設数	登録施設合計	査察実施施設合計
	りんご		りんご・なし		なし			
北海道	1						1	0
青森	97						97	0
岩手	4						4	0
山形	3		9	2	6	1	18	3
新潟					2		2	0
石川	1						1	0
長野	6	3	1		2	2	9	5
京都					1		1	0
鳥取					13		13	0
広島					2		2	0
福岡					1		1	0
熊本					1		1	0
大分					1		1	0
合計	112	3	10	2	29	3	151	8

査察実施スケジュール

- ▶ 2019年11月4日（月）来日 長野県（塩尻市）に移動して宿泊先の会議室）で検査官と植物防疫課担当官が日程等について打ち合わせ
- ▶ 5日（火） 長野県内のNN-038, NN-022, NN-025の登録選果施設及び登録園地の査察
- ▶ 6日（水） 同県のNN-046, NN-047の登録選果施設及び登録園地の査察後、長野県から山形県に移動
- ▶ 7日（木） 山形県のYM-041, YM-016, YM-004の登録選果施設及び登録園地の査察後、東京に移動。
- ▶ 8日（金） 白金台で検査官と植物防疫課担当官が打ち合わせ後帰国
- ▶ 注：記号は選果こん包施設コード
http://www.maff.go.jp/pps/j/fac/export/pdf/ringo_nashi20190717.pdf

査察実施状況（ NN-038,NN-022,NN-025, NN-046,NN-047）

- ▶ 長野県の農業概要で説明後、次の資料による説明
- ▶ ①施設の年間選果数量、時間。選果場平面図（トラップ設置個所明記）、選果場内トラップ調査結果記録
- ▶ ②モモシクイガのフェロモントラップ設置地点、トラップ調査結果（発生消長）
- ▶ ③防除暦及び登録農家の栽培日誌
- ▶ ④ 病害虫情報の提供内容

査察実施状況 選果施設及び登録農家



長野県による説明

施設における説明



登録農家圃場
(発生病害虫と防除)



査察実施状況

選果施設及び登録農家



選果こん包
の状況

矮化栽培圃場



台湾向け輸出用梱包

査察実施状況

- ▶ 山形県の発生予察事業対象作物・病害虫の説明後次の資料で説明
- ▶ ① モモシンクイガの調査地点及びトラップ調査結果
- ▶ ② 発生予察情報
- ▶ ③ モモシンクイガの発生状況とその防除農薬
- ▶ ④ 台湾向け生果実生産園地リスト
- ▶ ⑤ 防除暦
- ▶ ⑥ 選果場平面図

査察実施状況 選果施設及び登録農家

施設における説明



発生病
害虫と
防除状
況

査察結果

- ▶ 11月8日（金）台北駐日経済文化代表処（白金台）で検査官と植物防疫課担当官の打ち合わせにおいて、検査官からの指摘事項は無かったが以下のような点について発言があった。
- ▶ ① 大規模な選果施設と小規模な登録施設があるが選果こん包施設の審査基準は変更があるか？日本側から、すべて台湾側の要求を満たすことを確認して登録しているので、審査基準の変更はない。旨説明。
- ▶ ② 選果技術員の研修時間や園地管理についての質問があったため、日本側から説明を行った。
- ▶ ③ 台湾向けに実際に選果している時期に査察を実施できるようにとの要望があり、次回は努力する旨回答
- ▶ ④ 日本側から山形県の施設が年2回（8月と11月）査察対象となり、施設側の負担が大きいので配慮してほしい旨要望。要望があった旨伝えるとの回答。